

## 「革新事業創造提案プラットフォーム (A-idea)」のユーザーインターフェースの改良等について

- 過去の戦略会議では、A-idea のユーザーインターフェース（利用者の使い勝手）に関する課題をご指摘いただきました。
- そこで、A-idea の本格運用開始から間もなく 1 年を迎えるこの機会に、**現行 Web ページの構成やデザインの改良、掲載情報の追加等により利便性の向上を図ります。**
- これを機に、**利用者の増加や、より一層のオープンイノベーションを促進します。**

### 1. ユーザーインターフェース上の課題と改良点

各課題に対応するため、情報機能を追加することによる改良を実施します。

No.	追加する情報・機能	現状・課題	改良点	時期
1	会員による支援施策の登録	支援施策の登録は A-idea 事務局でのみ登録可能となっているため、支援施策を実施している金融機関・市町村等とのマッチングが十分とは言えない。	支援施策を会員自身（金融機関・市町村等）で登録することを可能にする。	12 月
2	会員によるイベント・セミナーや、提供可能な資機材・会議室等のリソースの登録	会員主催のイベント・セミナーへの出席、会員が保有している資機材や会議室などの利用を他会員に呼びかけたいとの要望が多い。	会員主催のイベント・セミナー、会員が保有している資機材や会議室などを会員自身で登録することを可能にする。	12 月
3	スマートフォン対応の改良	A-idea は、スマートフォンによる利用が多いが、サイトの概要や利用方法などが分かりづらく、A-idea の魅力が伝わりづらい。	スマートフォン用のユーザーインターフェースを改良する。	12 月
4	不審者等からのメッセージのブロック	すべての会員が自由にメッセージを送受信できるため、不審な会員からのメッセージを受信してしまう恐れがある。	特定の会員（例：不審なメッセージを送信する会員）のメッセージをブロックし、受信拒否をする。	12 月
参考	A-idea での支援事例の紹介	A-idea に登録した案件が県に採択された後、どのように事業化に至るのか具体的なイメージがわからない。	「空と道がつながる愛知モデル 2030」や補助金採択案件など、革新事業として採択された事例を紹介するページを新設する。	次年度

### 2. ロゴのデザインの改良

ユーザーインターフェースの改良等にあわせて、プロのデザイナーによりロゴ及びWEB ページのデザインの改良を実施します。



#### <ロゴの意味>

- ・ 複数の立方体が自由な創造を表現
- ・ 立方体の円環は様々なアイデアが集まり連携し、機能する様子を表現
- ・ 短形、円、立方体(正方形)を組み合わせた親しみやすいためのロゴタイプ



#### <ロゴの意味>

- ・ 愛知県のイニシャル“A”をモチーフに未来へと続く道を表現
- ・ A の文字をネガポジ反転表記とし、今まで愛知県の課題として見えてこなかったものや、目には見えなかった考え方を柔軟に捉えることを表現
- ・ プロポーションは黄金比を用いて形成・ロゴタイプも視認性の高いフォントをベースに、グローバルな印象を表現